

2024 SLT ///F4ST RACE 規則書

参加チームは本規則を熟読の上、申込期日までに手続きを行って下さい。
必ず出走するドライバー全員に熟読させて下さい。

【開催日程】

- ・ 1戦 5月 5日 (日) 春のレンタルカートデー
- ・ 2戦 6月 8日 (土)
- ・ 3戦 8月10日 (土) トワイライトレース
- ・ 4戦 10月6日 (日) 秋のレンタルカートデー
- ・ 5戦 11月10日 (日)

※上記日程は天候等で変更になる場合がございますので必ずレース毎にご確認下さい。

① タイムスケジュール

毎戦異なる為、必ずレース前日に公式通知を参照すること。

② 参加申込

1. 参加資格：18才以上で普通自動車免許証を有する方（特例：18才未満でもレース経験等主催者が認める者）。**スポーツカートでの走行タイムが59秒以内の者。**レーシングカートまたはスポーツカートでのコース走行経験が無い方の出場は認められませんので事前に練習等走行経験を積んだ上でお申し込みください。要するに、主催者認定者となります。
2. 仮申込：電話、FAXまたはメールでエントリー用紙を入手し、メール・FAXまたは郵送にてエントリー用紙を送付し仮申込を済ませて下さい。この時点で、チーム全員の氏名は記入されなくても結構ですが、チーム名、代表者氏名とその連絡先の記載がないものは受理できません。仮申込期限は開催日の3日前までとしますが、定員になり次第締め切ります。定員に達していない場合は当日まで延長致します。なお、キャンセル受付は3日前までとします。連絡無しのキャンセルはエントリーフィーの80%を請求いたします。
3. 服装について：ヘルメット、グローブ、運転に適したシューズ、**レーシングスーツまたはつなぎを着用の事。**長袖長ズボンは原則認められません。レースに於ける安全な服装が望まれます。

③ 受付確認

- チーム代表者またはその代理者は、必要事項を全て記載したエントリー用紙に参加費用を添え、受付確認を済ませて下さい。
- レンタルスポーツカートのエントリーフィーは ¥16,000
- スポーツカートのエントリーフィーは ¥6,000+¥1,000×ドライバー追加人数
- ~~ヘルメット・グローブのレンタルは有料です。ヘルメット（フェイスマスク付）800円・グローブ200円を受付の際にお申し出下さい。（コロナ感染対策のため貸出は当面行いません）~~

④ 当日の注意事項

- 受付が済んだチームはパドックで走行準備を行って下さい。
- エンジン始動：スイッチをONにしてリコイルスターターをゆっくりと長く引いて始動（強すぎたり、早すぎたりするとデコンプ機能が解除されます）します。エンジンが冷えて掛かりにくい場合はチョークレバーを手前に引いて始動します。（始動後、アイドリングが安定しない場合は、チョークレバーを1/2→全閉と段階的に戻してください。約10分で安定致します。）
- 給油：必ずエンジンを停止してから行い、給油口からあふれ出す事の無いように少量ずつ給油して下さい。燃料キャップを閉める際は、給油口のフィルターと給油口の切り欠き部分を揃え、燃料キャップ裏面のツメに合わせて右に廻して閉めてください。（力づくに閉めるとフィルターが燃料タンク内に沈んでしまい、燃料のあふれだしやキャブレタートラブルの原因となります）
- 練習走行は定められた時間内で行って下さい。ドライバーの交代は自由です。

■レースについて

- 賞典：決勝の順位で上位3チームが表彰されます。
- **2024年よりシリーズ表彰を行います。**
よって、順位に対しシリーズポイントが付与されます。
1位：10ポイント（以下P）、2位：8P、3位：6P、4位：4P
5位：3P、6位：2P、7位以下完走者：1P
- **第2戦目以降、前ラウンド優勝者はサクセスウエイト5kgを装着して出走する義務を課すこととします。**

- レーススタートの方法：スタンディングスタートとします。ピットからコースインして、定められたグリッドへ向かいます。予選ヒート1のグリッドはタイムトライアル（TT）のタイム順、予選ヒート2のグリッドは予選ヒート1の結果順、決勝ヒートのグリッドは予選ヒート2の結果順とします。
- レース当日の流れ：当日朝に受付を事務所で済ませた後、当日のタイムスケジュールのフリー走行枠にて練習走行を行うことができます。フリー走行の後、時間が来ましたらセッションが開始されます。TT（10分）、予選ヒート1（8周）、予選ヒート2（8周）、決勝ヒート（15周）という流れになります。
- ドライバーは一人または複数人登録できます。複数人の場合、どのセッションで誰が走られるかは予め申請しておいてください。
- スプリントレースの為、ピットイン義務は生じません。（レース中のピットインはリタイア扱いとなります。）

■ ※要熟読 コース上でカートが停止した場合の対処

①すぐに両手を挙げる（ドライバーサイン）、後続のカートに存在を知らせる。



エンジンが掛かっている場合



後続のカートに影響を与えないよう集団が通り過ぎてから再スタートすること。方向転換する場合は細心の注意を払うこと、方向転換中に事故があった場合は、100%そのドライバーの責任（妨害行為）となります。

エンジンが停止している場合



②後続のカートがいなくなったらカートを降り、安全な場所（走行ラインを避ける）にカートを移動し、エンジン始動を行う



③カートに乗り込んだら後方を確認し、後続のカートが通り過ぎてから発進すること。 ※ 自分でエンジン始動が出来ない場合や対応の出来ないトラブルが発生した場合は、①のドライバーサインを優先しつつ、頭上で両手を交差し、オフィシャルヘルプ要請して下さい。停止したドライバーには、オフィシャルが到着するまで事故の引き金にならないよう他のカートへ注意喚起する義務があります。

■コース上での基本ルール

- コース内でのイエローフラッグは基本的に危険や何らかのトラブルが発生している区間です。イエローフラッグによって危険が予告された場合、ドライバーはイエローフラッグ提示地点から危険箇所を通過するまでの区間は徐行し、追越をしてはならない。

- 赤旗について

赤旗はレース中断。赤旗確認後、全車コース上を徐行してピットインする事。赤旗の原因が解消されるまでレース中断とする。赤旗が提示された時点の前の周回数を基にグリッドを決め、レースを再開する。また、スタート直後に赤旗が提示された場合、再レースとなる場合もあります。ナイターの場合、赤旗の他に回転灯を用いることもあります。

- オレンジボール旗（黒旗に丸いオレンジ色のディスク） オレンジボール旗を提示された車両はピットインしなければならない。オレンジボールは指導が必要なドライバーや、車両にトラブルがある場合にゼッケン（指さしの場合もある）と共に提示されます。
- レース中コースアウトやクラッシュ等により車両にダメージが出た場合、その度合いによってはリタイヤとなり、エントリーフィーは返金されません。また、レンタル車両のダメージに関する修理代が必要となった場合は、その支払い義務が発生いたします。
- ピットロードの走行について

ピットロードは本来、参加者以外の者が立ち入ることが許されない場所です。このレースではピリピリした競技色を排除するため、応援団がコースサイドへ立ち入って応援することを認め、むしろ全員で楽しんで頂くよう声かけを致しております。ドライバーの皆さんは、この開催趣旨を十分にご理解頂き、事故防止のため最徐行でピットロードを走行して下さい。スタッフから度重なる指示を受けたり、スピードの出し過ぎで重大な事故を起こした場合は、次回からの参加をお断りする場合がありますのでご了承下さい。

■車両規定

エンジン・・・ **スポーツランドTAMADAで販売された、排気量200ccの4サイクル汎用エンジンで主催者が認めるもの。**

市販状態で一切の改造は禁止される。但し例外の部品もある為主催者の確認を得ること。また、整備等で場外へ持ち出すことは基本的に禁止いたします。やむを得ない事情で持ち出した場合は、主催者に確認願います。レースにおける**他エントラントからの抗議が発生した場合、主催者が分解点検いたします。この場合に掛かる費用は所有者の負担とさせていただきます。**

注・・・エンジンとは、燃料タンク、電装系（キルスイッチを除く）スターター関係、キャブレター、吸気系及び排気系部品全般、以上の総称である。

フレーム・・・基本的にC I K公認であること。フロントブレーキは禁止、改造箇所はエンジン搭載に関わる部位に限定、ボデーワークは必備、危険な部位がないこと。持込の場合は主催者の承認を得ること。

ボディワーク・・・バンパーおよびカウル類の車体外装は必備とする。製品の年式は問わないが、専用の製品として公認を受けたものであること。**リアプロテクション（樹脂リアバンパー）装着推奨。**ゼッケンパネルに判別が容易なゼッケン（数字）を貼ること。番号は事前に事務局にて登録しなければならない。

タイヤ・・・メーカー：Unilli（台湾製）の下記サイズを指定する。

フロント・・・10×4. 5-5
リア・・・11×6. 0-5

ホイールはフロント 120mm、リア 180mm 程度とし、材質は問わない。

★全てのレースにおける共通事項

レースに参加する者は、レース中の事故やケガ、身体および物品に対する損害を被ることが容易に予測されます。その危険性について十分理解し、仮に事故等があっても相手や主催者およびその関係者等を非難したり損害賠償の請求等をおこさない旨の誓約書を提出する義務があります。事故が起きた時の補償を求める場合、参加者自身に適用される保険に入ること。要するに、**自己責任で参加することが求められます。**

また、**レース結果やジャッジに関する申し立てや抗議は一切受け付けません。**